

# クレジットカードの専門家が教える審査基準

## 【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

## 【著作権について】

本書は著作権法で保護されている電子書籍です。

本書の取り扱いについては以下の点にご注意ください。

本書の著作権は起業家加藤にあります。

上記人の文書及びその他考えうる手段を用いて、許可なく、本書の一部又は全体をあらゆる手段(HP・ブログ・メルマガ・電子ファイル・ビデオ・印刷物等)による複製、流転用・記載、転売することを禁じます。

著作権法違反は三年以下の懲役若しくは三百万円以下の罰金刑に処せられます

# はじめに

はじめまして、加藤タカと申します。

このレポートは無職でも通るとか誰にでも出来るような話ではなく  
一般的な審査基準や情報を解説していきます。

各会社によって審査基準を設けていますのでここに書かれている事がすべて  
ではありませんのでその辺をご理解ください。

## クレジットカードの審査基準について

各クレジットカード会社でそれぞれ独自の審査基準がありますが、  
共通した仕組みとして「3C」といわれる3つのことから申込み者の情報を  
判断する仕組みを採用しています

### Capacity

返済能力についての項目であなたに返済能力があるかどうかをみます。  
(返済を続けるための安定した収入があるかどうかなど)  
この返済能力が**いちばん重要視**されます。

### Character

期日どおりに返済ができるかどうか、信頼性やまじめさをみます。

### Capital

負債に対する担保・貯蓄・不動産などを見ます。

この3つからなる3Cを**スコアリング**という点数付けで判断されます

## スコアリングシステムとは？

申し込み情報に記載された年齢や勤務年数・居住年数などの事を**属性**と  
いいほかに過去の利用履歴や情報を個人信用情報機関への照会をもとに  
点数付けされていきます。

点数の高い順に持家(自己名義) 持家(家族名義) 官舎 社宅 寮  
賃貸(マンション・アパート) 公営住宅 宿の順に点数が  
ついていきます。

クレジット会社によって審査基準に差がありますが総合的にみて3Cで判断します。

## クレジットカードの系統

クレジットカードは多種多様ですが4つに分かれていて  
銀行系・信販系・流通系・その他(消費者金融など)となっています。1  
審査の難易度はここ数年バラバラなので一概にどこが厳しいとか  
いえなくなりました。

## 審査が通らない理由について

申し込み情報がいい加減

記入欄の空白や誤字、脱字など 3Cの **Character**  
電話番号が1つでも違うと確認のしようがないですね。

スコアリング基準

年収・勤務年数・居住年数などがありますが一般的には年収は発行カードに  
よりますが300~400万、勤続・居住は5年以上が安心ラインです。  
ただし、この部分は自己申告であるためクレジット会社からはなかなか  
確認しようがない部分になります。

多重債務・延滞

年収から算する規定が各会社により4件目からは多重申し込みになります。  
金額が年収の大半を占めると新しい借入れが難しくなるのは普通に考えても  
わかりますよね。

延滞は3ヶ月で長期延滞(事故情報)として個人信用情報機関に載ります。  
自己破産者は10年です。

これが世間でいう**ブラックリスト**になります。

完済しても**自社ブラック**として記録が残る為、長期延滞をした会社での  
申し込みは厳しくなります。

クレジットカードだけではなく消費者金融での借入れも対象になります。

## 過去に覚えがあり、心配な場合

クレジットカードの申し込み情報は半年間残りますので無駄に申し込みをするのではなく、まずは個人信用情報機関で自己情報を調べましょう。

CIC <http://www.cic.co.jp/>

テラネット <http://www.teranet-corp.co.jp/>

\*照会方法は各情報機関にお問い合わせください。

また、申込書をよくみるとどこの個人信用情報機関に加盟しているかが必ず書いてありますので確認してみましょう。

## ブラックリストになったらカードはもてないの？

A 答えからするともてない事はありません。

通常では5年間記録に残ります。じゃあもてないですね……

「一般的には持てません。」 が

ブラックリストになっていても出来る人はいるのは事実です。

どういうことかというと

新規会員募集や店頭での即日審査などの期間は審査が緩い場合があります。

これはビジネス的大人の事情なのでしょう(笑)

私が思うところ新規募集に対する目標会員数というものがあり

目標達成のために多少の方なら通しているのでは？との解釈です。

過去に債務整理・自己破産暦のある方は希望を持たない方がいいと思います。

最悪どうしても持ちたい人の為に**デビットカード**という手もあります。

これは自分の預貯金の額のみ使えるクレジットカードになります。

よく無料レポートなどにブラックでも作れるクレジットカードと出ているのはほとんどがこのデビットカードであり、有名なのが[スルガ銀行のデビットカード](#)です。

## 属性について

### 職業での評点

医師、弁護士 公務員 会社員 自営業者 自由業 派遣社員  
アルバイト、パート 専業主婦 学生の順になります。

### 会社規模での評点

上場企業、外資系大手企業 非上場企業(資本金5億) 非上場企業(資本金1億)  
非上場企業(その他) 非法人  
会社の属性については無職ではなく会社の存在自体が確認できれば  
特に気にする必要はないかと思います。

### 雇用形態での評点

社長・オーナー 会社役員 会社員 派遣社員 アルバイト・パート 職人  
\*この項目も自己申告が採用される事が多い項目となっています。

## 年収

最低ラインは200万ですが300万からが安心ラインだと思います。  
ゴールドカードは500万がラインになります。  
\*年収も自己申告を採用される事が多い項目となっています。  
常識的に考えて不自然な年収ですと **Character** が疑われます。  
ローンの場合、給料明細、源泉徴収を求められる事があります。

## 居住年数

最低ラインとして1年以上になっていますが5年以上が安心ラインです。  
ローンを組む時とかの裏づけとして住民票やゼンリン地図からの情報を  
取得する場合があります。  
居住年数は長い方が評点は高くなりますが**居住形態の方が重要視**される傾向が  
強いので評点の差はさほどありません。

## 家族構成

評点の高い順に

独身・親と同居 既婚・親と同居 既婚・親と別居 独身・親と別居

子供の有り無しについては各会社により考え方が異なります。

\*この項目も裏づけを取るのが難しいため自己申告を採用しています。

## 電話

携帯が当たり前となった現在では固定電話がなくても問題ありませんが最低どちらかないと難しいと思われます。

しかし、現在でも固定電話がないと審査に影響する会社もあるのは事実です。

また、回線名義によっても評点は変わります。

一般電話回線はどれくらいの期間引いているか判断できることもあります。

## 在籍・在宅確認

これは会社によってまったく異なるため ある・ない は一概には言えません。

在籍しているのに確認が取れない状態だけは避けましよう。

## 個人信用情報とは

氏名、生年月日、住所、電話、勤務先、契約日、契約種類、限度額、

支払い回数、支払い状況、利用残高、申し込み履歴、事故情報

などがあります。

クレジット会社の**重要視する点**は

支払い状況 延滞がないかどうか

利用残高 返済能力内であるか

申し込み履歴 短期間に多重申し込みをしていないか

事故情報 過去に延滞事故を起こしていないか

## 身分証

運転免許証、パスポート、住基カード、保険証、外国人登録証などこれらのいずれかがないと厳しいです。

## 注意点

申込4件目からは多重申込により 申込ブラック になります。  
半年間、申込履歴が残るのでその間、ローン審査にも不利になります。  
某掲示板で多重申込による成功報告もあり、個人情報内容により発行例もあるみたいですので4件目から必ずできないわけではありません。

## お得情報

100%ではないので確実というわけではありませんが  
社長、高年収のカード所有者の紹介だと通常審査より通りやすくなる事があります。

以上を踏まえてクレジットカード申し込みの参考になれば幸いです。

\*このレポートを参考にして審査が通らなかったなどのクレームは一切お受けできません。その点を十分ご理解お願いします。